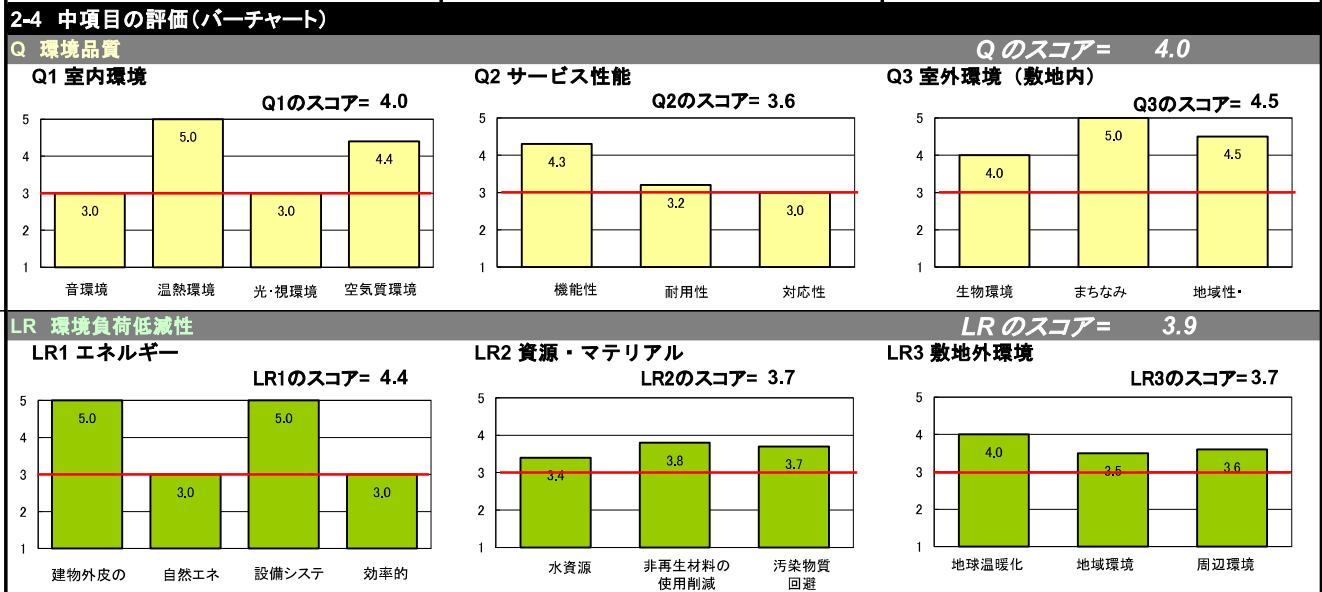
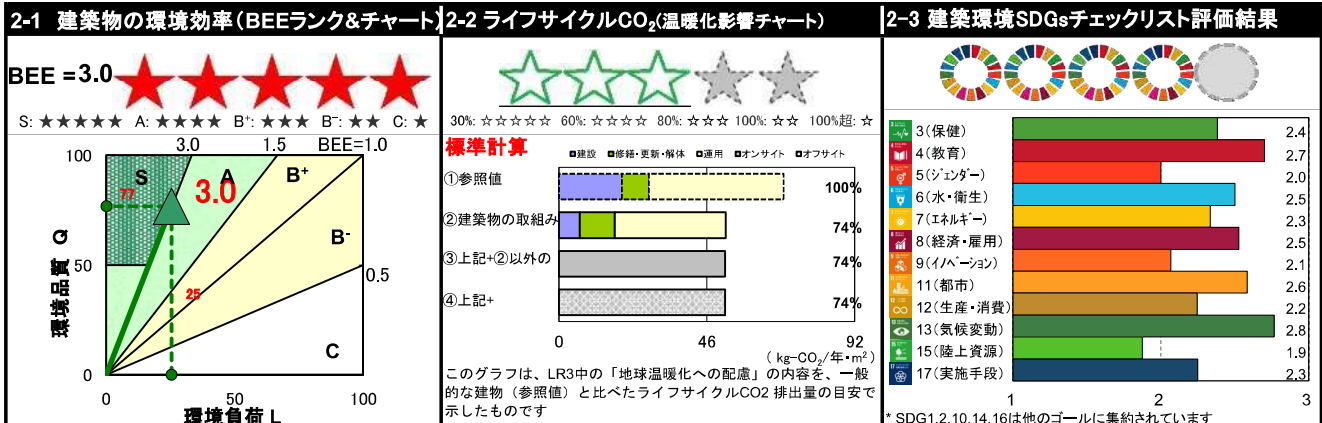


CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	県営住宅原団地建替整備事業 1工区	階数	地上5F、地下0F
建設地	静岡県沼津市大塚字大坪978他	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	455 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年11月 予定	評価の実施日	2024年6月10日
敷地面積	8,958 m ²	作成者	(株)市浦H&P 永井竜太
建築面積	2,620 m ²	確認日	2024年6月10日
延床面積	9,807 m ²	確認者	(株)市浦H&P 森岡憲祐



3 設計上の配慮事項		
総合 良好な都市環境を形成し、静岡らしい自然に映える景観形成に努める計画とした。また、ZEH-M強化外皮基準の外皮性能をもたせることで省エネルギー性の高い快適な室内環境を整えられるよう努めた。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、さらにホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量が少ない建材を全面的に採用し、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には適切に緑化を施すことで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。また既存樹木(サザンカ)を移植し、景観的に地域の歴史性を継承している。
LR1 エネルギー 適切な断熱材を施し外皮の熱負荷抑制に努め、またLED照明など高効率な設備を採用し省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない材料を使用するよう努めた。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される